

看護学部看護学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
2年	121	キャリアデザインセミナー
3年	139	災害看護論
3年	151	公衆衛生看護学援助論Ⅱ
3年	153	公衆衛生看護管理論

学修成果	1 人間基盤力	2 連携協働力	3 専門実践力	4 学術探究力	5 課題解決力	科目ナンバリング NSMi06				
				●						
科目名	キャリアデザインセミナー				単位 認定者	阿部 春美		評価の方法	試験（レポート）	60 %
対象学科 必修・選択 配当年次	看護学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内課題	40 %
						授業時間数	15 時間			
				授業形態	講義	授業回数	8 回			
授業の概要	1 年次の学修を踏まえ、興味関心のある領域は何か、どのような看護師になりたいか、どのような社会人になりたいか等、卒業後の人生を具体的に描きながら、自身のキャリアについて考察する。将来を具体的にイメージしながら、自身の人生を切り拓いていくための土台作りをし、学修目的の更なる明確化と学修意欲向上を図る。									
到達目標	1. 看護専門職としての責務と倫理、あり方について説明できる。 2. 活躍する看護専門職者について理解を深める。 3. 看護専門職に求められる社会のニーズと現状から看護の専門性について考える。 4. 現時点での自分で考える看護専門職像としてキャリアデザインについて述べるができる。									
学修者への期待等	「スタートアップセミナー」での学びを基盤として、看護専門職像としてキャリアデザインを考え、将来のために『大学生活をどうマネジメントし、自らをどう育てるのか』を一緒に考えていきましょう。									
回	授業計画・学修の主題					準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
1	キャリアデザイン、看護専門職の概念と生涯学習の意義について					事前学修：大学卒業後にどのような資格が取得でき、どのような進路が考えられるか調べる		30	0	木下 美佐子
2	看護専門職としてのキャリアデザイン：現任教育の目的と方法について					事後学修：授業内の学び		0	30	阿部 春美
3	看護専門職としてのキャリアデザイン：大学院教育の目的と意義について					事前学修：自分が関心のある看護系大学院を一つ選び、ウェブサイトを開覧 事後学修：配布資料の内容を復習		30	30	佐藤 幸子
4	看護専門職としてのキャリアデザイン：看護専門職としてのキャリア					事後学修：授業内の学び		0	30	木下 美佐子
5	看護専門職として活躍する人が歩んできたキャリアについて（保健師他）					事後学修：授業内の学び		0	30	真溪 淳子
6	看護専門職として活躍する人が歩んできたキャリアについて（専門看護師他）					事後学修：授業内の学び		0	30	阿部 春美
7	自らのキャリアデザインについての考察					事前学修：キャリアデザインシートの作成 事後学修：キャリアデザインシートの完成		90	60	阿部 春美
8	看護専門職とキャリアデザインについてのまとめ					事後学修：レポート課題の作成		0	90	阿部 春美
アクティブ・ラーニング	☐ 該当なし ☒ 該当あり：キーワード（グループディスカッション）									
教科書	適時、資料を配付する。									
参考文献	『看護師のキャリア論』勝原裕美子著、照林社									
備考	※第7回はグループディスカッションを行う。 ※授業内課題「授業内の学び：20%」、「キャリアデザインシート：20%」で評価し、次回の授業でフィードバックする。 ※試験（レポート）：「看護専門職像としてキャリアデザイン」（60%）									

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）
看護師、看護管理者、看護教育分野でも5年以上の実務経験を活かして、看護専門職像としてキャリアデザインについて理解を深められるよう授業を展開する。（阿部）

学修成果	1 人間基盤力	2 連携協働力	3 専門実践力	4 学術探究力	5 課題解決力	科目ナンバリング NSMi02				
			●		●					
科目名	災害看護論				単位 認定者	高橋 由美 泉田 さとみ		評価の方法	授業内課題	100 %
対象学科 必修・選択 配当年次	看護学科	必修	3年	開講時期	後期	単位数	2 単位			
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	講義	授業回数		15 回	
授業の概要	災害の種類と特徴、災害サイクルに応じた課題と対処方法等災害発生時に必要な看護の知識と技術、関連する主要な法制度を学ぶ。災害による人々と社会への影響、健康や生活上の問題について理解し、災害時のトリアージ、応急処置、避難所の開設・運営、要配慮者への対応等を学び、災害看護の基礎的知識を学修する。									
到達目標	1. 災害看護の概要と災害サイクルに応じた看護の役割機能を理解できる。 2. 災害発生時に必要な看護の実践方法について理解できる。									
学修者への期待等	世界各国で頻発する災害に関心を持ち、専門職として果たすべき役割を認識し、知識と技術が修得できるよう応用力、想像力、創造力を発揮し主体的に学んでほしいです。									
回	授業計画・学修の主題					準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
1	【災害看護学概論】 ・災害看護の歴史と定義、倫理、災害の種類と災害サイクル ・災害看護学で用いる基本的な概念					事前学修：テキスト2章A. B1～4を読んで授業に臨む 事後学修：授業を振り返り学修カードを提出する		30	30	高橋 由美
2	【災害看護学概論】 ・災害支援活動と関連する法制度及び関係機関等の役割の理解 ・避難関連、災害時の体系的対応に必要な項目					事前学修：2章B5, 6を読んで授業に臨む 事後学修：教科書・配布資料で復習する		30	30	泉田 さとみ
3	【災害時に求められる支援活動】 ・災害サイクル各期に応じた看護活動：災害時の看護の役割と健康問題					事前学修：2章C①～⑥まで読んで授業に臨む 事後学修：教科書・配布資料と返却された小テストで復習する		30	30	泉田 さとみ
4	・災害直後、急性期、亜急性期の看護活動：災害拠点病院における救助活動やDMATの活動等					事前学修：2章D①3章A, B, C, Dを読んで臨む 事後学修：教科書・配布資料と返却された小テストで復習する		30	30	泉田 さとみ
5	・東日本大震災後の活動から学ぶ1：巨大津波後の被災地で求められた活動					事前学修：授業前に提示するテーマについて下調べをする 事後学修：授業で取り上げたポイント及び返却された小テストについて復習する		30	30	泉田 さとみ 手塚 有希子
6	・東日本大震災後の活動から学ぶ2：原子力災害による被災地で求められた活動					事前学修：授業前に提示するテーマについて下調べをする 事後学修：授業で取り上げたポイントについて復習する		30	30	

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
7	【理論と実践の統合】 ・被災当事者と遺族への支援 支援者のストレスマネジメント	事前学修：2章F抄読 事後学修：教科書・ 配布資料で復習する	30	30	阿部 幹佳
8	・災害時に必要な技術1：災害トリアージ	事前学修：2章B③を 読んで授業に臨む 事後学修：返却され た小テストの復習と 課題レポートの提出	30	30	高橋 由美 阿部 幹佳 坂村 佐知 泉田 さとみ 手塚 有希子
9	・災害時に必要な技術2：応急処置・搬送法	事前学修：教科書の 巻末資料を読んで授 業に臨む 事後学修：課題レ ポートの提出	30	30	
10	・避難所での支援1：生活環境整備 (感染対策、排泄、疾病の増悪予防の実際)	事前学修：2章D①～ ③を読んで授業に臨 む 事後学修：課題レ ポートの提出,教科 書・配布資料で復習 する	30	30	
11	・避難所での支援2：要配慮者の対応 (精神疾患、認知症の対応も含む)	事前学修：2章E③～ ⑤を読んで授業に臨 む 事後学修：課題レ ポート,教科書・配布 資料で復習する	30	30	
12	・避難所での支援3：周産期福祉避難所 (母子支援、子どもの心のケア、障害を持つ児のケ ア)	事前学修：2章E①～ ②を読んで授業に臨 む 事後学修：課題レ ポートの提出,教科 書・配布資料で復習 する	30	30	
13	【復興期における地域の健康課題と支援の実際】 ・復興期における被災地の実際 (被災当事者による報告等について)	事前学修：授業前に 提示するテーマにつ いて下調べをする 事後学修：授業で取 り上げたポイントに ついて復習する	30	30	高橋 由美 阿部 幹佳 手塚 有希子
14	・地域住民の心のケアの実践の中で協働して地域再構 築に取り組んだ事例紹介	事前学修：授業前に 提示するテーマにつ いて下調べをする 事後学修：授業で取 り上げたポイントに ついて復習する	30	30	
15	【総括】 ・災害発生時に必要な看護とは（学修成果発表・ま とめ）	事前学修：これま での授業を教科書や配 布資料で復習する 事後学修：これま での講義や演習をと おして課題レポートを 提出する	30	30	高橋 由美 阿部 幹佳 坂村 佐知 泉田 さとみ 手塚 有希子

アクティブ・ラーニング	☐ 該当なし ☒ 該当あり：キーワード（ グループワーク、PBL型演習、実技 ）
教科書	『系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践 [3] 災害看護学・国際看護学』庄野泰乃他編、医学書院
参考文献	『看護と放射線』日本アイソトープ協会編、丸善出版 『ナースিং・グラフィカ 看護の統合と実践③：災害看護』酒井明子他著、MCメディカ出版 『ナースিং・グラフィカ 精神看護学②精神障害と看護の実践』出口禎子他編、MCメディカ出版
備考	評価は授業内課題100%（小テスト40%、課題レポート50%、授業内態度10%）とし、適宜フィードバックをする。 実技は8回、9回、PBLは10回、11回、12回、グループワークは13回、14回、15回で実施する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	
教員は看護師資格（実務経験5年以上）を有し、東日本大震災で被災地での救護活動や病院内での対応、地域における被災者支援の経験があります。その経験を活かした実践的な授業を行います。（高橋、阿部、坂村、手塚、泉田）	

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	人間基盤力	連携協働力	専門実践力	学術探究力	課題解決力	NSMk03				
		●	●		●					
科目名	公衆衛生看護学援助論Ⅱ				単位 認定者	小林 淳子 真溪 淳子		評価の方法	試験 (筆記)	40 %
対象学科 必修・選択 配当年次	看護学科	選択	3年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内課題	60 %
		＊保健師選択制 必修				授業時間数	30 時間			
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	市町村や保健所等行政の保健師が実施する母子保健、成人保健、高齢者保健、健康づくり、感染症・難病対策、健康危機管理の概要と関連法規、保健師の役割を理解する。地域包括ケアシステムが推進される中、多職種連携における保健師の機能、併せて行政の場で個人・家族、集団・組織を対象とする具体的な支援方法を学び、保健師の実践能力に関する基礎的知識を学修する。									
到達目標	1. 市町村や保健所等行政の保健師活動の概要と根拠となる関係法規について説明できる。 2. 行政の保健師による基本的な健康支援活動について説明できる。 3. 健康危機管理・地域包括ケアシステムにおける保健師の役割について説明できる。 4. 障害児・者保健、難病対策等における多職種連携とチームの一員としての保健師の役割について説明できる。									
学修者への期待等	本科目は4年次開講の『公衆衛生看護学援助方法』『公衆衛生看護学実習Ⅱ』へとつながり、保健師としての実践能力の基盤を形成する科目です。既修の公衆衛生学疫学公衆衛生看護学概論の学修と統合して学びが深まるよう期待します。									
回	授業計画・学修の主題				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員	
1	母子保健に関する法律と体系				事前学修：母子保健 医療福祉の動向について教科書を読み授業に臨む 事後学修：授業で取り上げた内容を復習する		30	30	小林 淳子	
2	母子保健における支援技術の基本① (家庭訪問、健康相談、健康教育、健康診査)				事前学修：母子/親子・女性の健康課題と支援について教科書を読み授業に臨む 事後学修：授業で取り上げた内容を復習する		30	30	小林 淳子	
3	母子保健における支援技術の基本② (地域組織活動、自主グループ支援)				事前学修：母子/親子・女性の健康課題と支援について教科書を読み授業に臨む 事後学修：授業で取り上げた内容を復習する		30	30	小林 淳子	
4	成人保健・高齢者保健・健康づくりに関する法律と体系				事前学修：成人・高齢者保健福祉の動向について教科書を読み授業に臨む 事後学修：授業で取り上げた内容を復習する		30	30	小林 淳子	
5	成人保健・高齢者保健・健康づくりにおける健康支援① (家庭訪問、健康相談、健康教育、健康診査)				事前学修：成人・高齢者の健康課題と支援について教科書を読み授業に臨む 事後学修：授業で取り上げた内容を復習する		30	30	小林 淳子	
6	成人保健・高齢者保健・健康づくりにおける健康支援② (地域組織活動、自主グループ支援)				事前学修：成人・高齢者の健康課題と支援について教科書を読み授業に臨む 事後学修：授業で取り上げた内容を復習する		30	30	小林 淳子	
7	障害児・者保健における法律と体系				事前学修：障害者・児保健福祉の動向について教科書を読み授業に臨む 事後学修：授業で取り上げた内容を復習する		30	30	真溪 淳子	

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
8	障害児・者保健における健康支援	事前学修：障害者・ 児の健康課題と支援 について教科書を読 み授業に臨む 事後学修：授業で取 り上げた内容を復習 する	30	30	真溪 淳子
9	精神保健に関する法律と体系	事前学修：精神保健 医療福祉の動向につ いて教科書を読み授 業に臨む 事後学修：授業で取 り上げたポイントに ついて復習する	30	30	真溪 淳子
10	精神保健における健康支援	事前学修：精神障害 者の健康課題と支援 について教科書を読 み授業に臨む 事後学修：授業で取 り上げたポイントに ついて復習する	30	30	真溪 淳子
11	難病対策に関する法律と体系	事前学修：難病対策 の動向について教科 書を読み授業に臨む 事後学修：授業で取 り上げたポイントに ついて復習する	30	30	真溪 淳子
12	難病対策における健康支援	事前学修：難病の患 者の病状と家族の介 護負担、その支援に ついて教科書を読み 授業に臨む 事後学修：授業で取 り上げたポイントに ついて復習する	30	30	真溪 淳子
13	感染症対策に関する法律と体系 感染症対策における健康支援	事前学修：難病対策 の動向について教科 書を読み授業に臨む 事後学修：授業で取 り上げたポイントに ついて復習する	30	30	真溪 淳子 手塚 有希子
14	健康危機管理に関する法律と体系 健康危機管理における保健師の役割	事前学修：健康危機 管理に関わる法律と 対策、保健師の役割 について教科書を読 み授業に臨む 事後学修：授業で取 り上げたポイントに ついて復習する	30	30	真溪 淳子 手塚 有希子
15	地域包括ケアシステムに関する法律と体系 地域包括ケアシステムにおける多職種連携・協働と 保健師の役割	事前学修：地域包括 ケアシステムに関わ る法律とシステムに ついて教科書を読み 授業に臨む 事後学修：授業で取 り上げたポイントに ついて復習する	30	30	真溪 淳子 手塚 有希子
アクティブ・ ラーニング	□該当なし ☑該当あり：キーワード（ グループワーク ）				
教科書	『標準保健師講座2 公衆衛生看護技術』中村裕美子他著、医学書院 『標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動』中谷芳美他著、医学書院				
参考文献	『最新 公衆衛生看護学 各論1』宮崎美佐子他編、日本看護協会出版会 『新版 保健師業務要覧』井伊久美子他編、日本看護協会出版会 『国民衛生の動向2026/2027』厚生労働統計協会著、厚生労働統計協会				
備考	授業内課題は各回の提出物で評価し、次の授業の中でフィードバックを行います。 第3・6回の授業ではグループワークを行います。				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)
行政保健師として25年間の実務経験を有しており、保健センターや地域包括支援センターでの各ライフステージを対象とした保健師活動や健康危機管理活動の経験を活かし、学生が公衆衛生看護の実際について理解を深められるように授業を行います。（手塚）

学修成果	1 人間基盤力	2 連携協働力	3 専門実践力	4 学術探究力	5 課題解決力	科目ナンバリング NSMk05				
			●		●					
科目名	公衆衛生看護管理論				単位 認定者	小林 淳子		評価の方法	授業内課題	100 %
対象学科 必修・選択 配当年次	看護学科	選択	3年	開講時期	後期	単位数	2 単位			
		＊保健師選択制 必修				授業時間数	30 時間			
				授業形態	講義		授業回数		15 回	
授業の概要	看護管理論の学びと統合し、組織・地域の健康水準の向上、職員や住民の権利の保障、効果的・効率的な公衆衛生看護活動の実践を目的とする公衆衛生看護管理の機能を学ぶ。保健師は新任期から公衆衛生看護管理機能を担うことを理解し、地域診断と保健師活動に基づく事業化・施策化のプロセス、並びに健康危機管理における保健師の役割と機能について事例を通して学び、公衆衛生看護管理に関する基礎的知識を学修する。									
到達目標	1. 公衆衛生看護管理の目的と機能を説明できる 2. 保健師のキャリアに対応した公衆衛生看護管理機能について説明できる 3. 保健・福祉に関する施策化と事業化のプロセスを説明できる 4. 健康危機管理の理念・目的と健康危機に対応する保健活動について説明できる									
学修者への期待等	本科目は4年次開講の『公衆衛生看護学援助方法』『公衆衛生看護学実習Ⅱ』へとつながり、保健師としての実践能力の基盤を形成する科目です。既修の『公衆衛生学』『保健医療福祉行政論』『疫学』『公衆衛生看護学概論』の学修と統合して学びが深まるよう期待します。									
回	授業計画・学修の主題					準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員	
1	公衆衛生看護管理の目的・機能					事前学修：公衆衛生看護管理の目的・機能について教科書を読み授業に臨む 事後学修：授業で取り上げた内容を復習する	30	30	小林 淳子	
2	公衆衛生看護管理の機能の概要① (実務的管理機能、職位に付随する管理機能)					事前学修：公衆衛生看護の機能の概要について教科書を読み授業に臨む 事後学修：授業で取り上げた内容を復習する	30	30	小林 淳子	
3	公衆衛生看護管理の機能の概要② (基盤となる管理機能、統括保健師の役割)					事前学修：公衆衛生看護の機能の概要について教科書を読み授業に臨む 事後学修：授業で取り上げた内容を復習する	30	30	小林 淳子	
4	公衆衛生看護管理の事例検討					事前学修：公衆衛生看護管理の基本を復習して授業に臨む 事後学修：授業で取り上げた内容を復習する	30	30	真溪 淳子 手塚 有希子	
5	行政における政策・施策・事業の体系とプロセス					事前学修：行政における政策・施策・事業の体系とプロセスについて教科書を読み授業に臨む 事後学修：授業で取り上げた内容を復習する	30	30	工藤 広一	
6	保健福祉事業の基盤となる地域アセスメント					事前学修：公衆衛生看護における地域アセスメントの学修を復習して授業に臨む 事後学修：授業で取り上げた内容を復習する	30	30	小林 淳子	

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
7	保健福祉事業計画と評価計画	事前学修：保健医療福祉における施策化と事業化について教科書を読み授業に臨む 事後学修：授業で取り上げた内容を復習する	30	30	小林 淳子
8	保健福祉事業の予算と質のモニタリング	事前学修：予算編成・予算管理について教科書を読み授業に臨む 事後学修：授業で取り上げた内容を復習する	30	30	小林 淳子
9	保健福祉施策化・事業化の事例検討	事前学修：保健医療福祉の施策化と事業化について教科書を読み授業に臨む 事後学修：授業で取り上げた内容を復習する	30	30	真溪 淳子 手塚 有希子
10	健康危機管理の理念と目的、健康危機の分野と特性	事前学修：健康危機管理の基本について教科書を読み授業に臨む。 事後学修：授業で取り上げた内容を復習する	30	30	手塚 有希子
11	健康危機ガイドライン、リスクマネジメント	事前学修：健康危機管理の基本について教科書を読み授業に臨む。 事後学修：授業で取り上げた内容を復習する	30	30	手塚 有希子
12	災害に対する保健活動	事前学修：災害保健活動について教科書を読み授業に臨む。 事後学修：授業で取り上げた内容を復習する	30	30	手塚 有希子
13	感染症集団発生に対する保健活動	事前学修：感染症集団発生に対する保健活動について教科書を読み授業に臨む。 事後学修：授業で取り上げた内容を復習する	30	30	小野寺 恵美子
14	児童虐待に対する保健活動	事前学修：児童虐待に対する保健活動について教科書を読み授業に臨む。 事後学修：授業で取り上げた内容を復習する	30	30	小室 陽子
15	健康危機管理の事例検討	事前学修：健康危機管理の理念と目的、災害保健活動と感染症集団発生への保健活動について教科書を読み授業に臨む 事後学修：授業で取り上げた内容を復習する	30	30	真溪 淳子 手塚 有希子
アクティブ・ラーニング	☐ 該当なし ☒ 該当あり：キーワード（グループワーク）				
教科書	『標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論』標美奈子他著、医学書院				

参考文献	『公衆衛生看護学テキスト2 公衆衛生看護の方法と技術』佐伯和子責任編、医歯薬出版株式会社 『新版 保健師業務要覧』井伊久美子他編、日本看護協会出版会
備考	授業内課題は各回の提出物で評価し、次の授業の中でフィードバックを行います。 第4・9・15回の授業ではグループワークを行います。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	
行政保健師として25年間の実務経験を有しており、保健センターや地域包括支援センターでの保健師活動と行政職としての行政事務の経験を活かし、学生が公衆衛生看護管理の実際について理解を深められるように授業を行います。(手塚)	